

HPVワクチンを受けた

お子様と保護者の方へ



ワクチンを受けた後は、 体調に変化がないか 充分に注意してください。

もしも、気になる体調変化があった場合は、
このリーフレットを参考に、医師に相談してください。

当日

ワクチンを受けた後30分ほどは 座って様子を見てください。*

*ワクチンを受けることに対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて、時に気を失うことがあります。
血管迷走神経反射という誰にでも起こる可能性がある反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。
たお 倒れてケガをしないように
背もたれのあるイスに座って休みましょう。



ワクチンを受けた日は はげしい運動はやめてください。

数日後
から
数週間後

気になる症状が出たときは すぐにお医者さんや周りの大人に相談してください。

具体的な症状を裏面に掲載していますので、参考にしてください。

ワクチンを受けても、子宮けいがん検診は必要です

ワクチンを受けた人も、20歳をすぎたら2年に1回、必ず検診を受けてください。
ワクチンで防げないタイプのHPV(ヒトパピローマウイルス)もあります。

以下のような症状が出たら、お医者さんや周りの大人にワクチンを受けたことを伝えて、相談してください。

- 注射の針を刺したときに強い痛みやしびれを感じた
- ワクチンを受けた後に、注射した部分以外のところで痛みや手足のしびれ・ふるえなど気になる症状や体の変化がある



【起こるかもしれない体の変化】

多くの人に起こる症状*	<ul style="list-style-type: none">● 注射した部分の痛み、腫れ、赤み● 疲れた感じ、頭痛、腹痛、筋肉や関節の痛み
その他の症状	<ul style="list-style-type: none">● 注射した部分のかゆみ、出血、不快感● 発熱、めまい● 発しん、じんましん● 緊張や不安、痛みなどをきっかけに気を失う

*接種を受けた人の10%以上に起こった症状



【まれですが、起こるかもしれない重い症状】

- 呼吸困難、じんましんなどを症状とする重いアレルギー(アナフィラキシー)
- 手足の力が入りにくいなどの症状(ギラン・バレー症候群)
※ギラン・バレー症候群は、手足の力が入りにくくなる病気です。
- 頭痛、嘔吐、意識の低下などの症状(急性散在性脳脊髄炎(ADEM))

【痛みやしびれ、動かしにくさ、不随意運動について】

- ワクチンを受けた方に、広い範囲に広がる痛みや、手足の動かしにくさ、不随意運動(動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまうこと)などを中心とする多様な症状が起きたことが報告されています。
- ワクチンを受けていなくても、こうした症状のある方もいることが分かっています。

HPVワクチンに関する相談先一覧

接種後に、健康に異常があるとき

- 接種を行った医師・かかりつけの医師、HPVワクチン接種後に生じた症状の診療に関する協力医療機関
※協力医療機関の受診については、接種を行った医師又はかかりつけの医師にご相談ください

不安や疑問があるとき、困ったことがあるとき

- お住まいの都道府県に設置された相談窓口

HPVワクチンを含む予防接種、インフルエンザ、性感染症、その他感染症全般についての相談

- 厚生労働省 感染症・予防接種相談窓口

予防接種による健康被害救済に関する相談

- お住まいの市町村の予防接種担当部門

厚生労働省のホームページでは、
HPVワクチンに関する情報をご案内しています。

厚労省 HPV

